

磐城時報

日刊 第七廿
編輯部 磐城郡平町新屋町十四
印刷部 磐城郡平町新屋町十四
電話 磐城郡平町新屋町十四
發行所 磐城郡平町新屋町十四
一部金貳圓一月金五圓
廣告料一行十四字金五圓
日刊 日曜（休日）休刊

天長の佳節をトして 過激思想排除宣傳

金甌無缺の團体を擁護せよ 平在郷軍人分會の計劃

平在郷軍人分會では過激檢舉された共產黨秘密結社事件に鑑み國民の思想善導を目的とする帝國在郷軍人分會の左の如き訓示並に宣誓を來る二十九日の天長節をトして大々的に地方民に宣傳する事となり日下山崎分會長以下幹部が宣傳の方法其他を協議中である、宣傳する訓示並に宣誓文左の如し。

訓示

我國開國以來時に治亂隆替なきに非ず雖今回の如く金甌無缺の國体を破壊せんとする組織的大陰謀は未だ嘗て之を聞かず、實に昭和聖代の不祥事にして恐懼措く能はざる處なり、抑も共產主義に胚胎せる過激思想は兇暴なる手段を以て國体の變革を圖り皇國三千年の歴史を覆さんとするものにして其亡狀真に恐む可し吾人は居常聖旨を奉戴して國家擁護の重きに任ず宜しく現時の國情に處して益々操守を堅くし團結を鞏固にし郷黨相戒め戦友相率る率先忠思想の排除に努め帝國の大義を顯揚し以て本會の使命を完ふせん事を期すべし。

宣誓

帝國は國難に遭遇せし事なきにしもあらずと雖も現下の如

不信任案上提に先たち 議會停會を命ぜらる

（午後三時着電）政府は民政黨の總括的内閣不信任案及び野黨聯盟の二次議案を衆議院に提案すべく緊急上提の同意を政府に求めて來たので野黨の反省を促すため衆議院の停會を奏請し即刻左の如き詔書により停會を命ぜられた。

朕帝國憲法第七條により二十七日から二十九日まで三日間議會の停會を命ず。

御名 御璽

石城の降霜被害 梨は三割から五割減收

農會と養蠶同業組合で 關係者總動員で調査

去る二十五日の降霜で石城地方二十六日大山技師は及邊、泉方果樹農作物に多少の被害を見る、内田書記は赤井方面、鈴木に至つた事昨報の如くであるが技師は錦方面に出張被害調査を石城郡農會では之が調査のたの行ひ、石城郡養蠶同業組合成出

技師も廿五日來石城一圓並に双葉地方迄を調査した結果大体左の如き被害である事が判明した、蔬菜の被害は馬鈴薯のみで渡邊、泉等比較的被害の多い處でも約一割内外の減收であらう、梨は平窪、赤井、大野各村の梨園が被害をうけてゐる、目花蕾で實際の被害は開花して結實期に入らねば判らないが、降霜被害のため開花後に落果するのは三割位と想像してゐる、然し早生種の長十郎は五割位の減收であらうと思ふ、錦方面は桑、果樹の被害共に殆んど少ない。

女子醫專在學中の 美人が投身自殺 勿來海岸に飛び込む 漁夫が発見して救助

二十五日午後六時頃勿來町海岸中のものと判明したので父兄等に投身して自殺を企てた妙齡の美人あるを折柄通りかつた漁原因について取調べた處家庭的夫が発見し海中に飛び込んで救助しこの旨届け出たので係官出張視察の結果、この女は茨城縣平海町小出あき（二〇）と言ひ東京女子醫學專門學校二年在學

二十七日は全國結核防疫デーに當るので平町に於ては警中、警女兩校を始め平陽校其他私立校第一、第二兩小學校等に於て夫婦結核防疫に關する講演をなし、平衛生會、平警署、平町役場では兩看護婦會と共同して自動車數臺を用意し樂隊を頼んで平全町に數萬枚の防疫に關する印刷物を撒布した、平衛生會並に平醫師會のビラ左の如し。

出炭を制限しても 貯炭は減るまい 常磐炭礦の打開策も 結局は水泡に歸せん

常磐炭界の不況は昨秋來その絶七日來平消防組に至りガソリンに達し業者は打開策としてポンプ、水道消火栓等の水勢を視察した。

▲警中運動會 警城中學校では五月五日午前八時から同校運動場で第卅回運動會を開く

▲終熄か 平町最近の腸チブスは去月十七日宇田町藝妓屋林家方小六事高橋（三四）が罹病收容以來昨日まで合計四十五名に達し中には不良の轉歸をきたるものも少からず現在收容患者尚三十六名の多數に上つてゐるが近く退院の見込あるもの數名あるとの事であるから最近の發生もあつて未だ終熄の域に入つたとは見られぬが患者數は今後日と共に漸次減少するものと觀られてゐる。

▲結核防疫デー 二十七日は全國結核防疫デーに當るので平町に於ては警中、警女兩校を始め平陽校其他私立校第一、第二兩小學校等に於て夫婦結核防疫に關する講演をなし、平衛生會、平警署、平町役場では兩看護婦會と共同して自動車數臺を用意し樂隊を頼んで平全町に數萬枚の防疫に關する印刷物を撒布した、平衛生會並に平醫師會のビラ左の如し。

▲消防組頭視察 高知縣下消防組頭十五名は同縣山本柳瀬兩巡査部長引率の下に二十

▲愛谷堰の通水式舉行 昭和元年以來繼續事業である夏井川筋愛谷堰改修工事は總工費二十六萬圓を以て最新式なる改針である。

▲踏扈する 悪桂庵 平町南町八鹽ツル（五〇）は平町新田町藝妓屋山形家に藝妓をしてゐた石城郡好間村大字小館長島ハルの娘キョウ（一八）を餌に鞍替へさせる理由で東京、水戸仙臺方面から數百圓を騙取して告訴された事件に就いては同町周旋業山口都四郎も關聯してゐたので都四郎も平署に召喚取調を受けたが、都四郎は本年一月

▲愛谷堰の通水式舉行 昭和元年以來繼續事業である夏井川筋愛谷堰改修工事は總工費二十六萬圓を以て最新式なる改針である。

修をなすべく既に二ヶ年を要して新川の鐵筋コンクリート掛橋を初めとして護岸工事、好間川サイホン等水路の全工事を完成したので本年からはいよいよ取入れ口の自動堰を改修することになる、最も難工事であつた好間川底を通じたサイホンは直徑五尺の鐵筋コンクリート管長さ四間の工費四萬八千圓を要しこの程竣工したので本廿七日午後一時縣から耕地課長代理堤技師出張臨席の上通水式を舉行する、而して取入口工事は目下耕田用水期なので諸材料等を用意稲田の水不用品となる秋の彼岸ならば急速改修すると。

情死者の身元

文學かぶれの病める娘

連れ出された巡査部長の弟

昨報一久の濱山林中で情死を計し求めた、二人の遺書によると、つた若い男女の身許は調査の結果、カルモチン五十錠をのんだが、死果男は石川郡川東村生れ、田村郡に切れず、今度は豫て持合せて三原村大字八幡町三春署に勤めた猫イラズを再び嘸下し、台意の藤巡査部長安藤直次(三〇)女情死を圖つたもの。遺書が親許は同所海産物商安藤吉二女渡邊あに届いた時は情死の電報が来てや(三〇)と判明男は廿五日夜死、家族も驚いた、なほ女の遺書に亡女は一命を取止めるらしく、夫婦になれぬのを悲観して死五日夜家族が引取つたが兩名は私心のはなく肉體は幸福でも同町五寺院で毎月交替で行はれる観音講に入り知り兩名共病弱のころから知らず、の内に戀に落ち、女は小學校時代から文學かぶれで最近茶川龍之助氏の死を讚美し、カルモチンで死ぬるならいづそ死にたい、と口走り、男はこれに同情して、午前二時無断家出、平野前を徘徊日前二人家出し、茨城縣助川町及中舉動不審として、翌に捕はれ、石城郡湯本町に死に場所を探説論の上、翌日に引渡さる。

生徒募集

▲和服一般 ▲池ノ坊生花
▲婦人小供洋服 ▲其ノ他手藝
▲小笠原流禮法 ▲特設夜間教授

平町鍛冶町 阿部裁縫塾
電話二四六番

青應山家傳

中風靈藥

定價 一週分一・九〇
二週分三・七〇
三週分五・五〇

男女中風症、腦溢血、動脈硬化症、逆上引下、頭痛、言語難澁、半身不隨、其他中風より起る諸症に偉効を奏す。是非御試用を勸む。

代理店 平町五丁目角 山野邊藥局

印刷物の御用は... 加納活版所

簡易の金融 堅實と誠意

磐城無盡商會

大蔵大臣 許大 臣大 蔵大 免

本社 植田町
支社 平町
電話一七九六番

申下さい絶わぬ會員募り時ども

原齒科醫院

平町土橋通り
電話三一三番

松村病院

内科 専門
十二指腸病
婦人病
皮膚病

平町南町 電話七〇一

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

開業御披露

種類目
美容術 マニキュア(美爪術)
衣裳着付 歐風結髪 毛染
シャンプ(洗髪) 其他美容術一切

平町字仲田町(赤心堂病院通り)
オリエンタル美容院

澁谷美容學院卒業
美容師 上坂武子
日本美髪學校卒業
美容師 近山梅子

奇妙にさくハリダスリ

不思議 膏 (二日分)

れうまら骨の痛、肩のこり、歯痛、うちみ、神経痛、胃痛、痛氣、寸白、痔、すわりだこ、こまめ、ひょうそ、癩、よれ、う、やけど、靴ずれ、頭痛、乳のこり、のぼせ、瘡毒、いれき耳の痛、其他何處へはりて痛みを和げ、回らず事不可思議

平町四丁目(電話百四十四番)
特約店 小野屋藥舖

江戸前 魚

魚御料理 うなぎ
蒲焼 うなぎ井

◎出前は迅速に配達致します

平町南町 魚榮
電話四二四番

季節向御料理大勉強

愈々公園の節

松ヶ岡公園池ノ端(電話二二六番)
廉賣 第一割烹 とさわ
町喫

外科 診療開始

花柳病科 専門

平町六丁目橋際
木村外科醫院

牛豚肉破格提供

牛中肉	百匁	金二十五錢
牛上肉	同	金四十錢
豚口肉	同	金六十錢
豚口肉	同	金九十錢
豚中肉	百匁	金二十五錢
豚上肉	同	金四十錢
豚口肉	同	金五十錢

平町停車場前(平劇場入口)
廉賣王 深谷牛肉店
電話五二四番

油と味噌

山崎合名會社

東京支店
上野車坂四三
電話下谷五七二番
振替東京六八三二二番